

CASBEE[®]広島

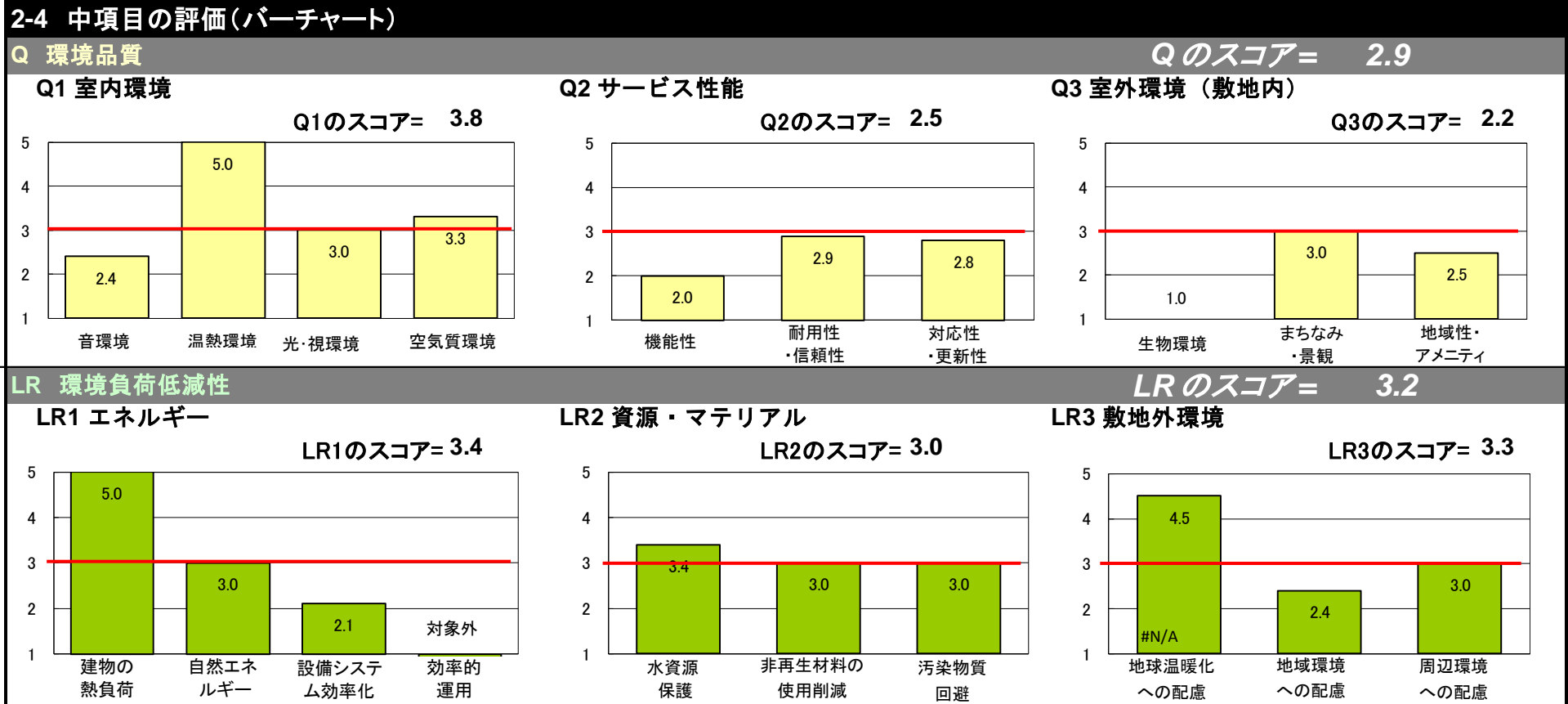
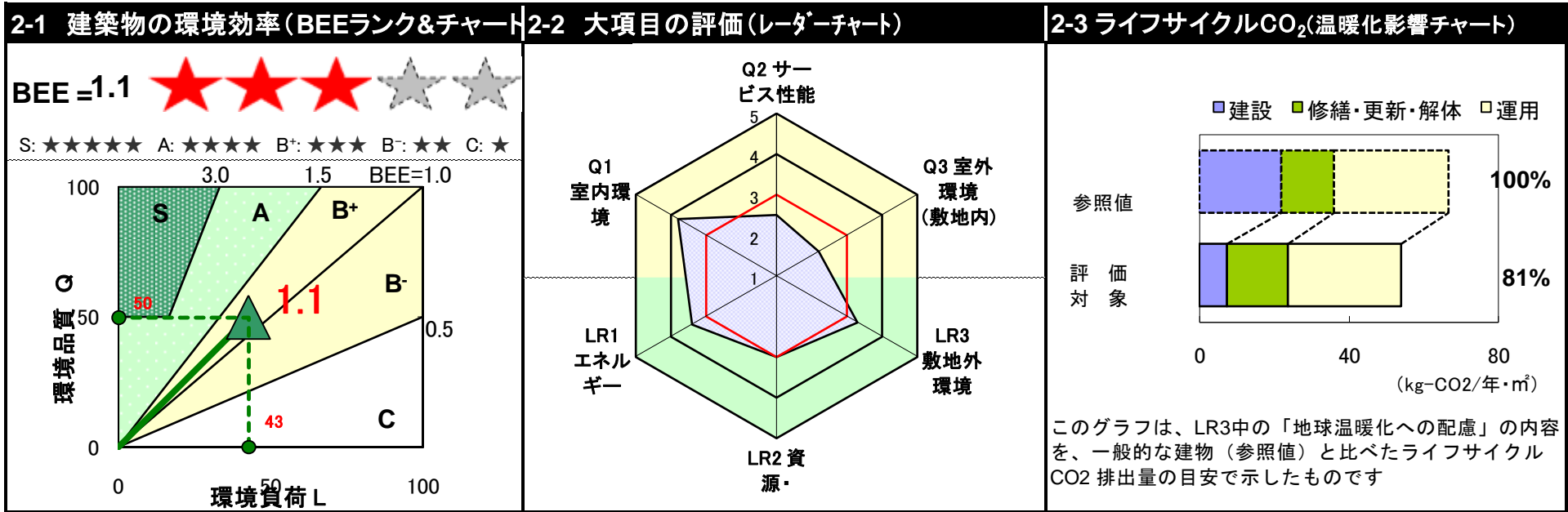
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	県営舟入住宅2号館(仮称)	階数	地上10F
建設地	広島市中区舟入南3丁目241 他5筆	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	160 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年10月 予定	評価の実施日	2011年12月8日
敷地面積	2,984 m ²	作成者	松田 好晴
建築面積	570 m ²	確認日	2011年12月12日
延床面積	2,783 m ²	確認者	岡田 勝己



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.6

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.0	スコア = 1.8	スコア = 3.1
設計の計画上特段に配慮した事項 断熱性能の向上 / 太陽光発電の採用 / / / 全ての住戸内について、間取り変更の障害となりうる構造躯体の壁または柱が存在しない。 設備配管等について、躯体に直接打ち込みをしないことで、容易に更新が可能である。 / 躯体材料の耐用年数に配慮	設計の計画上特段に配慮した事項 /	設計の計画上特段に配慮した事項 劣化対策等級3の獲得 躯体と仕上げ材が容易に分別可能 解体、改修、更新の際に、設備配管等について容易にやり替えが可能 /

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される